

史料群番号 19

史料群名	とよしまなおえ 豊島直衛家文書	旧所蔵者	豊島直衛
探訪時住所	茨城県鹿島郡白鳥村		
現在の住所	茨城県銚田市		
探訪年月	昭和27（1952）年8月		
史料の年代	寛永8（1631）年～弘化4（1847）年	史料の総点数	41点
年代の内訳	近世 41点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第9集」巻末の未整理史料群の一覧に、「旧名主、名字をゆるされていた。宗門改帳数冊の帳面と少量の文書である」とあり、寄贈と書かれている。

史料群の概要

探訪地の白鳥村阿玉（あだま）は、近世は阿玉村で、明治22年に白鳥村となった。近世の阿玉村は旗本2氏の相給村である。本史料群も阿玉村の村政、なかでも年貢に関するものが大半を占める。漁業に関する史料は見られない。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

